

のり海況速報 第9報 (27-9)

平成28年 1月25日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/21：内湾(ふさなみ)、1/22：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(1/8-25)、東京湾口海況図(1/8-25)
 自動観測ブイデータ(1/8-25)、拓南観測データ(1/22)
 モニタリングポスト(1/21：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(1/5)よりも約2°C低下し、10~12°C台になっています。塩分は30~32台で、平年並みからやや高めでした(図1)。
- ・内房北部の表層水温も下がり、12~13°C台になっています。
- ・内房北部の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、ノリ漁場沖合(st. 10)付近の水深10m以深に塩分34以上の水塊がみられます(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入は弱まり、金谷から久里浜ライン付近の水温は14°C台になっていますので、現状ではのり養殖漁場への影響は少ないようです。

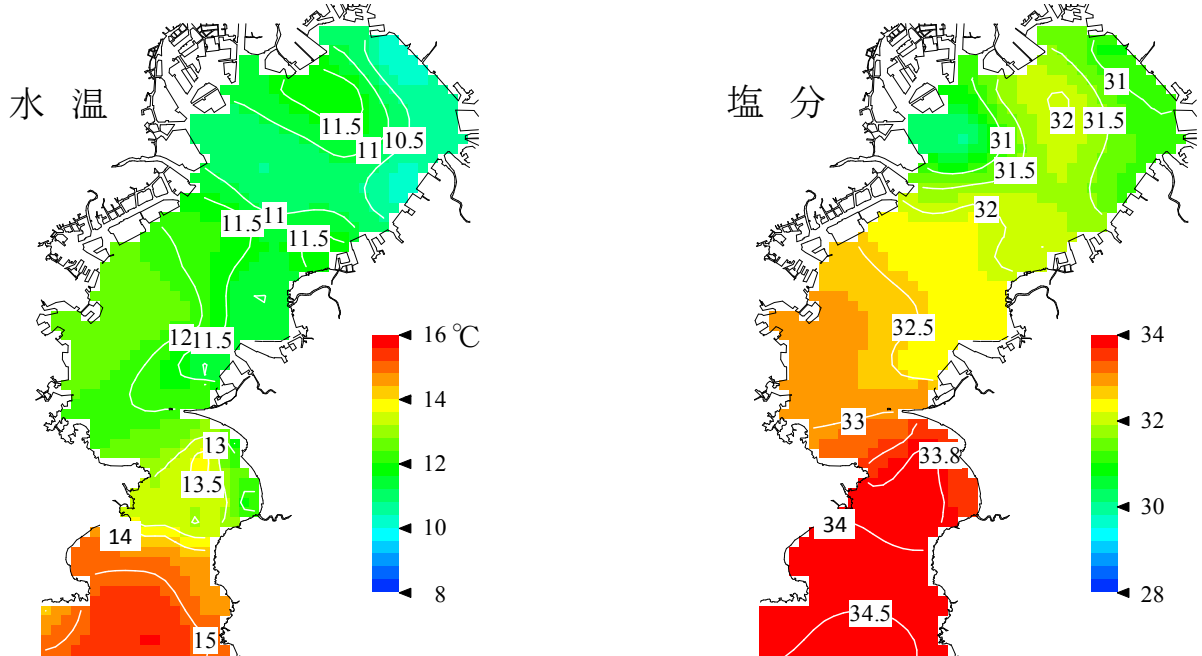


図1 表層の水温・塩分の分布(平成28年 1月21-22日)

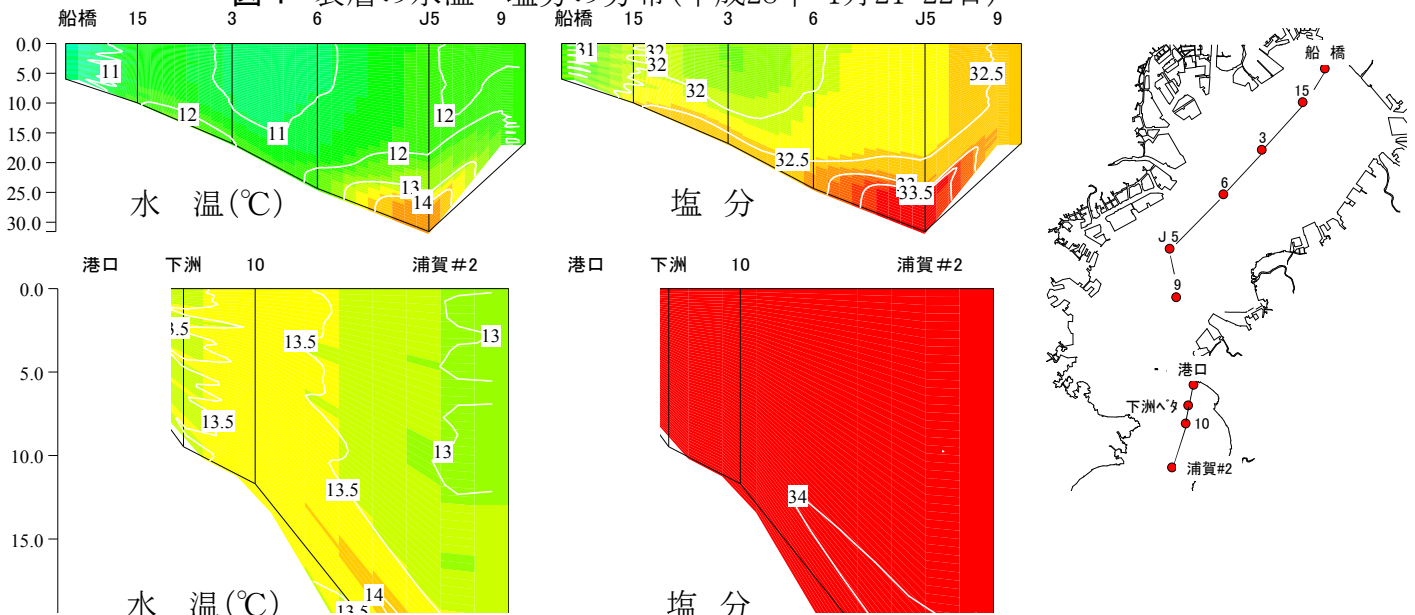


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成28年 1月18-19日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していませんが、スケルトネマやタラシオシラなどのケイ藻プランクトンが増加し始め、内湾では水色が褐色を帯びてきているところがありました。
- 透明度はアクアライン以北の海域で2m台まで低下していました。
- 表層の栄養塩(図3)はリン(D I P)が前回(1/5)に比べて少なくなっていますが、現状ではのり養殖にとって十分な量です。

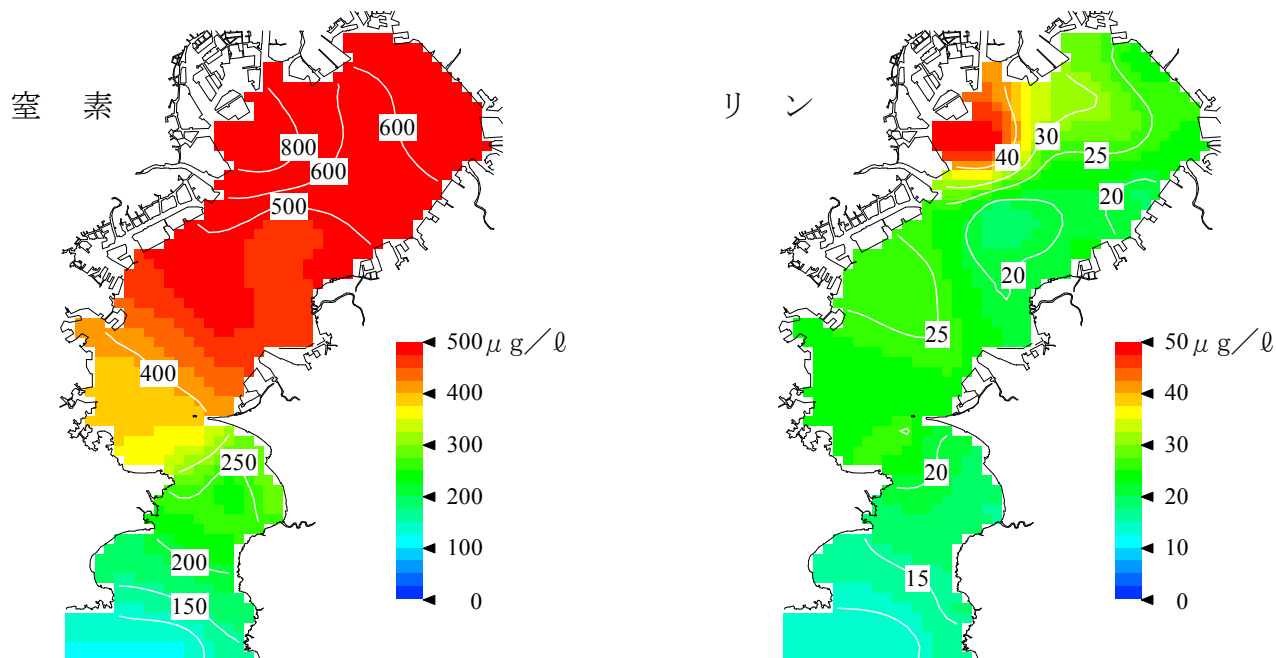


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成28年 1月21-22日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html